

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	綾瀬市小園土地利用計画	階数	地上3F
建設地	綾瀬市小園字南原280-1ほか	構造	S造
用途地域	第一種中高層:準防火地域	平均居住人員	80人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2015年5月31日
敷地面積	1,881 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	760 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,140 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	93%
④上記+	93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	必要部位に断熱材を設け、外皮の熱負荷軽減に配慮した。 LED照明の採用	その他 0
Q1 室内環境	必要部位に断熱材を設け、外皮の熱負荷軽減に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部分に緑地を配し、周辺のまちなみや風景に配慮した。
LR1 エネルギー	LED照明の採用による消費電力量の削減	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	空間の快適性及びゆとりを配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	解体時に分別が容易な工法を採用し、非再生性資源消費削減対策とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される